

首都圏

つるおか会

会報 第25号

発行 首都圏鶴岡会



食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City of Gastronomy



令和4年7月11日、東京・大手町の日経ホールにおいて、酒井家庄内入部400年を記念したシンポジウムが開催されました。当日は約460人の参加者を得ての開催となり、基調講演とパネルディスカッションを通して、酒井家と庄内の400年の歴史について理解を深めました。
(写真提供：酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会観光部会)

会長挨拶



会長 坂田 敬一

首都圏鶴岡会の皆様、こんにちは。

最近ではコロナのニュースが第7波による感染者の急増を伝えています。しかし、国の行動制限がないためか、以前に比べてあまり騒がず、いよいよウィズコロナの生活になった感じがします。

鶴岡では5月、コロナが落ち着き、3年振りの天神祭り、大山まつりが開催され、「久しぶりだねえー良かったねー」の声が聞こえてきました。それぞれの祭りもすべてこれまで通りに出来なくても嬉しいものです。東京においても如松会（北高同窓会）やあさひ会が開かれ、3年前の9割近くの出席者だったと聞いています。皆さんも待ちかねていたんですね。

首都圏鶴岡会も9月25日（日）に3年振りに総会を実施します。コロナ対策は万全にと実行委員会では考え計画しています。会員の皆様の中には4回目のワクチン接種済の方もいらっしゃると思いますが、個々の予

防もよろしくお願いいたします。
今年には酒井家庄内入部400年記念の年として、鶴岡で記念事業実行委員会が組織され、その歩みを学ぶ行事が始まりました。東京においても7月11日（月）日経ホールでシンポジウムが多数の皆さんを集めて実施されました。

さて、昨年より6月に入ると虱ヶ関漁港の便りに何と!!本マグロの水揚げが載っています。結構な本数がはえ縄で水揚げされているようです。庄内のマグロ？私が知っている限りでは他県から送られて来る程度で地元のマグロは話題にも上りませんでした。お盆の頃、加茂水産高校の遠洋実習で獲れた冷凍マグロのブロックが安くて美味しかった思い出はあります。庄内浜の本マグロを食する企画など今後は考えられます。

首都圏鶴岡会もここ3年活動が十分に行えずに来ました。これからはホームページが動き始める予定です。いろいろな鶴岡情報等が日々あります。しかし、なかなか会員の皆様にお伝え出来ずにいました。完成の際はふるさと会や各高校同窓会を通じて連絡します。楽しみにお待ちください。

「酒井家庄内入部400年記念シンポジウム」に寄せて

酒井家 悠久の繁栄 支え合う庄内人の絆

庄内藩入部の酒井家が400年続いている歴史的経緯をひもとくシンポジウムでした。基調講演は歴史小説家の伊東潤氏が「東北戊辰戦争と庄内藩の活躍」と題して話され、パネルディスカッションでは、「酒井家庄内入部400年を紐解く」をテーマに、コーディネーターは歴史学者・東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏、パネリストとして、伊東潤氏、旧庄内藩主酒井家18代当主の酒井忠久氏、NHK歴史番組プロデューサーの谷口雅一氏の4氏で議論が交わされ、その後質疑応答もあり、約460人が聴講されました。

時(とき)、今は2022年(令和4年)夏、例年になく厳しい暑さのなかで日々穏やかに過ごせることが幸せと感ずります。ふるさとの鶴岡を離れ、思いは鶴岡の歴史、現況、未来のことなど、頭の中を整理しながらの暮らしに満足しています。歴史といえ、今年は「酒井家庄内入部400年」、1622年当時の鶴岡はどのような状況にあったのかと考えると想像の世界が広がります。そんな気持ちで、「酒井家庄内入部400年記念シンポジウム」に参加してきました。歴史小説家伊東潤氏のお話は、「東北戊辰戦争と庄内藩の活躍」で特に酒井玄蕃の軌跡が印象に残りました。酒井家18代当主の酒井忠久氏は三方領地替えにもふれ、「恵まれた豊かな大名であった」と語り、酒井家がこの400年を一年・一年と積み重ねながら、庄内を治めてこられたことに、「偉大さと真摯さ」を心から感じ、敬意を表します。生地が鶴岡であることに誇りを、先人たちへの感謝を持ち続けてまいります。

「三方領地替え」は、農民のその土地、お殿様に対する畏敬の念の表れと思います。思い起こせば、17代当主の酒井忠明(ただあきら)氏は、市民から尊称として「忠明(ちゅうめい)はん」、「鶴岡のお殿はん」と呼ばれていたと聞いたことがあります。「〇〇はん」と呼ぶ響きがいいですね。ご当主の市民に対する親しみと慈しみが感じられ、愛されていたことを深く思います。家を守ることの意義をあらためて考えると、「人・土地・縁」が大切といえるのではないのでしょうか。これからも酒井家の悠久の繁栄を、各人が担う「家」の存続を、末代までつなげていかれることを心からお祈りいたします。100年後、400年後に向かって、希望と信頼を持ち続けていきたいと思ひます。最後に荻生徂徠訓から「人はその長所のみを取らば、即ち可なり。短所を知るを要せず」今こそ、繁栄の礎は「人の育と絆にありと・・・」

(首都圏鶴岡会理事 佐藤 隆也)

総合保険事務所 オフィス勝どき 代表 大泉 正 (日本FP協会会員、相続診断士) 取扱保険会社 メットライフ生命・東京海上日動 〒104-0054 東京都中央区勝どき6-3-1-3422 TEL 03-6794-1208 FAX 03-6734-1168 フリーフォン 0800-080-1208 Eメール oizumi.masashi@mt-kachidoki.jp	鶴岡市友好都市 江戸川区のコミュニティ施設 ご宴会・レストラン グリーンパレス 〒132-0031 東京都江戸川区松島1-38-1 TEL 03-3651-2228 http://www.greenpalace-matsuya.com
【電気とエアコン、困ったときお電話下さい。】  株式会社 ホノマ電機 取締役会長 本 間 俊 三 〒252-0302 相模原市南区上鶴間1-12-1 TEL: 042-746-1616	第二のふるさとを大切にしています。 江戸川大山会 会長 長 岡 利 夫



酒井家庄内入部400年



基調講演

「東北戊辰戦争と庄内藩の活躍」 歴史小説家 伊東 潤 氏

パネルディスカッション

「酒井家庄内入部400年を紐解く」

コーディネーター 本郷 和人 氏(歴史学者、東京大学史料編纂所教授)

パネリスト 伊東 潤 氏

酒井 忠久 氏(旧庄内藩主酒井家18代当主)

谷口 雅一 氏(NHK歴史番組プロデューサー)



日経ホール 受付ロビー



主催者代表挨拶 石原純一氏



酒井家18代当主 酒井忠久氏



基調講演 歴史小説家 伊東潤氏

(写真提供: 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会観光部会)

荘内銀行
東京支店(中央区日本橋室町)

地元企業エル・サングループ お気軽にお問い合わせください!
葬祭会館 アク・サン
ご葬儀 事前相談 承っております。
アク・サン 鶴岡・本町・大山・余目・あつみ
HP:<http://www.aqsun.jp> TEL.0120-91-5002

酒井家庄内入部 400 年記念
(企画展 開催中)
鶴岡市家中新町 10-18
公益財団法人 **致道博物館**
電話 0235-22-1199

鶴岡のこだわり
佐徳
だだちゃ豆おこわ
0235-24-1180
佐徳

出羽庄内地域文化情報誌
Cradle
庄内の
変わらぬ能力を
お届けします
通話料無料 TEL: 0800-800-0806

電子版 好評受付中!!
シングルプラン
(電子版のみ)
2,200円/月(税込)
お問い合わせ tel.0235-22-1480
<http://www.shonai-nippo.co.jp/>

お酒は20才になってから
銘酒
加藤嘉八郎酒造株式会社
〒997-1124 鶴岡市大山 3-1-38 TEL 0235-3342008

富士酒造株式会社
〒997-1124 山形県鶴岡市大山三丁目32番48号
TEL 受付時間 月~金 9:00~17:00 FAX 24時間
0235-33-3200 0235-33-0477
<http://www.e-sakenom.com>

学生を伸ばす、地域の未来を創る、世界に挑む大学づくり
東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science
経営コース 政策コース 地域福祉コース
国際教養コース 観光・まちづくりコース メディア情報コース

第26回 首都圏鶴岡会総会のお知らせ

日時：令和4年9月25日(日) 13時30分～

場所：タワーホール船堀（都営新宿線船堀駅すぐ）

このたびの総会については、コロナ禍の中で、どうすれば開催できるか、役員会でも慎重に検討してまいりました。その結果、感染防止対策を徹底することに加え、懇親会に代えて懇談の時間を設けることとし、3年振りの総会・講演会を開催することといたしました。懇親会を行わない代わりに、地元鶴岡の選りすぐりのお土産を用意するなど、コロナ禍でも楽しんでいただける総会を開催します。

ぜひ多くの皆様から、またこれまで参加されたことのない方からのご出席お待ちしております。



齋藤 仁幸
総会実行委員長

第二十六回首都圏鶴岡会総会の実行委員長、齋藤仁幸と申します。菅前会長から「市内高校首都圏同窓会会長は、首都圏鶴岡会の副会長ならねばなだ」と誘われ、令和三年度役員改選で副会長になりました。昨年、第二十五回首都圏鶴岡会総会は、ぎりぎり迄コロナ感染状況を観察しながら、あらゆる対策を熟慮した上で総会を開催する予定でしたが、結果的に中止に至ってしまいました。県境を跨いで移動が規制され、地元鶴岡にも帰れない事態では、致し方なかったのが残念で堪りませんでした。故郷が遠く感じ、会員相互も疎遠になるのではないかと心配です。

四月二十日、対面での役員会が開かれました。やはり会話は対面がいいですね。話す相手の表情が良く分かり、会話が活性化します。

年が明けてから、三回目ワクチン接種が進み、飲食店の営業時間も延長され、人流も少しずつ戻ってきました。コロナ禍収束とは未だ実感できないものの、通常の生活に戻りつつあるように思えます。

ただ、ロシア軍侵攻によるウクライナ戦争をコロナ禍収束期間より短い終息を強く願います。

現状を悲観することなく、首都圏鶴岡会総会が開催できるように、坂田会長を先頭に役員一同知恵を出し合い、熟慮して準備を進めていく所存です。状況が許されるものなら、懇親の場で庄内弁で語り合いたいものです。

数多くの参加をお待ちしております。しえばの。

手造りの味
つけもの処 **本長**
〒997-1124
山形県鶴岡市大山1-7-7
フリーダイヤル 0120-330-878
FAX 0235-33-0878
http://www.k-honcho.co.jp
鶴岡駅前：本長商店 TEL0235(22)0616

庄内の地魚・旬の食材たっぷりの蒲鉾
滝りかまぼこ店
鶴岡 南電泉・滝川
〒997-0034 鶴岡市本町1丁目8-27
TEL 0235-22-0281

JA 鶴岡 **たぐいば**
ご注文は
☎ 0235-29-9850
ただばら 検索

山形県立鶴岡南高等学校
東京 鶴翔同窓会
事務局 〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-7-25
TEL・FAX **03-3893-9876** (両方)
同窓会HPはこちら→

山形県立鶴岡北高等学校
如松同窓会東京支部
笑顔で会える日を楽しみに
事務局 〒135-0021 東京都江東区白河4-9-25-412
TEL/FAX 03-6240-3795

鶴岡地区
物産協同組合 **でがくす**
〒997-0028 山形県鶴岡市山王町3-14
TEL:0235-64-8701 FAX:0235-64-8702
E-mail:bussankimiai@angel.ocn.ne.jp

山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会関東支部
事務局 〒165-0025 東京都中野区沼袋1-41-2
TEL・FAX **03-3389-1894** (両方)

山形県立鶴岡工業高等学校
城畔同窓会関東総支部
事務局 〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1-15-4
TEL・FAX **048-462-3655**

クラゲ展示種類数
世界一
鶴岡市立加茂水族館 TEL0235-33-3036

「葛西親水四季の道」を歩いてみました

鶴岡市東京事務所が江戸屋敷として江戸川区の西葛西に設立されて一昨年（20）で三〇周年になりました。そこで、会報の編集委員たちは江戸屋敷の近くを流れる「葛西親水四季の道」（長島川）を散策して参りました。

水辺や小道の、文字通り四季の樹木が鬱蒼として都会の喧騒を忘れさせてくれます。

滝が勢いよく流れています。

水田がありました。江戸屋敷の近くの第七葛西小の児童たちが毎年田圃を耕してJA鶴岡の農家が持参する庄内米の苗を育てて米作りに挑戦しているとのこと。ここでも江戸川区と鶴岡の戦時中から続いている友好の絆はしっかり繋がっていました。

江戸屋敷の案内看板を通り過ぎて、川は直角に右折。だんだん川幅も広がり、都会の下流の感じ。一旦暗渠した後、新長島川親水公園に合流。そして新左近川を経て荒川・中川に合流して東京湾に流れます。東京湾に面して広大な葛西臨海公園。

東京は水の都と言われるほど大小の河川が多いのに昭和30年代の高度成長で汚染。23区では親水公園をいくつか造りましたが、江戸川区が最も早く昭和48年から「水と緑に親しめる緑道であり、住民のコミュニティの場」を目指して造り始め、現在も一番力を入れている由。小松川境川親水公園、一之江境川親水公園、古川親水公園、新長島川親水公園、新左近川親水公園の五つです。水遊びをしている子供たちの笑顔と歓声が素晴らしい!!

江戸川遊歩を存分に楽しみたいくなりました。

（文責 編集委員 櫻井）



鶴岡市東京事務所での集まりの楽しみの一つは駅から事務所に行く途中に流れる『葛西親水四季の道』の水の流れを囲む桜だったり季節の花々です。今回は下流に向かつての散策でしたが、いつかこの人工の水の流れの流域全部を歩いてみたいと思いました。

（編集委員 大泉）

葛西親水四季の道は良い。緑と水の流れは安らぎを覚えます。江戸屋敷は荒川・旧江戸川に挟まれ緑と調和している場所が沢山。東京湾に行けば葛西臨海公園も有り是非のんびりと歩く時間を取って来たいスポットです。

（編集委員 坂田）

緑豊かな中で、小川のせせらぎを聴きながら心なごむ気持ちになり、すなおにひとときの喜びを感じました。同郷の方々との触れ合い散策、いいですね。あらためて何が大切かに気づき、ともにつなぐ絆を大切にしていきたいですね。

（編集委員 佐藤）

水無月の爽やかな日に、久し振りにマスクを外し緑あふれる中で思いっきり深呼吸をした。懐かしい香りが胸いっぱいに拡がった。語らいながら歩いた道、鶴岡江戸屋敷近くのCONZONバーカリーのパンを提げてまた来よう!

（編集委員 伊藤）



会員のひろば

月まで住んでいました。それまで神奈川県藤沢が4年、大田区大森が3年、千葉が1年だったので、ぼくにとつての故郷



篠崎 実さん
鶴岡南高校昭和53年卒業
現在 千葉大学文学部教授

鶴岡には小学校3年生だった昭和43年3月、高校卒業の53年3月

「数年前に鶴岡に赴任しました」「鶴岡に旅行に行ったのよ」「鶴岡に友人がいるの」生まれ育った場所鶴岡は、私の帰る場所であつたりと過ごせる場所。そして、新たな出会いを繋いでくれて、私を支えてくれる場所という代名詞も加わり、いつも心強い味方となるふるさとです。

最近、仕事で新たな業務に携わることになり、それまで全く接点のない方々と一から人間関係を作りながらの業務には不安でいっぱいでした。そのような状況で「鶴岡出身」というワードが新たな方々とのつながりを作ってくれたのです。



田中 史織さん
鶴岡市羽黒町出身
東京都立川市在住

高校卒業するまで鶴岡で過ごし、就職のため今年で丸20年。ついに鶴岡で過ごした年月より長くなりました。



今井 妙さん
三川町出身
神奈川県横浜市在住

30年間の鶴岡市市民の生活から横浜市民に変わったのが8年前になりました。仕事のひと区切り時期に、首都

は、10代を終えるまでにもっとも長く住んでいた鶴岡です。父親の再就職先が千葉だったので昭和61年以降実家も鶴岡になくなってしまいました。けれども、30代後半から、いまは山形育英会駒込学生寮となつて旧荘内館で高校同期を中心に鶴岡南高校OBの後援会である鶴翔塾を始め、鶴岡の友人たちと定期的に会うようになり、そのなかで住んでいる頃は知らなかった鶴岡のいろいろなことを知るにつけ、人とのつながりこそが故郷のありがたさであると実感する今日この頃です。



小池 孝範さん
鶴岡市田川町出身
神奈川県川崎市在住

今年の4月より、職場が東京となり、神奈川県民となりました。高校卒業までの18年を鶴岡で過ごし、その後、

仙台(13年)、松戸(4年)、秋田(13年)と住まいを転々とし、今般の川崎となりました。



今野 りつさん
庄内町出身
東京都世田谷区在住

庄内町(旧立川)生まれです。いつの間にか65歳。いまだ何者にもなれず、58歳の時に勤めてた会社が民事

再生で退社。ずっと仕事はインテリア。同業への再就職もありましたがいつそ違う世界へ。半年間の職業訓練の後植木職人へと。エクステリア。でも還暦にもなつて「バカ！」と怒鳴られるとは。職人はハード。朝4時起床で弁当下げて現場へ。

個人邸・集合住宅・商業施設と多岐です。最近やつと枝を切らせてもらえらるように。「望めば何処にでも」が座右の銘。今年の冬にJAXA募集の宇宙飛行士にエントリーしました。質問に「あなたの理想の宇宙飛行士は」私は「人種や民族を超えて平和と協調を旨とする人」と。世界平和を祈願。勿論落ちました。さてさて何処に行こうとしているのやら。



則行さん
出身 東京都墨田区
仁平さん
出身 鶴岡市鼠ヶ関

これまで、ほぼ毎年正月とお盆の年2回は帰省して、墓参り、親戚・友人たちとの飲み会をするのが当たり前になっていました。それが、このコロナ禍になり、2年半以上帰省できない。旧温海町鼠ヶ関の出身ですが、あの海が見たい、新鮮な魚が食べたい、あつみ温泉に浸かりたい、美味しい日本酒を地元で飲みたい。遠くから

思っても楽しくありません。実際に見て接することがどんなに楽しいかわかりました。ようやく、感染症が落ち着いてきたので、今年は静かに密かに帰省しようと計画中です。コロナに負けず、でも気をつけて実現したいと思います。



佳子さん
出身 鶴岡市
大木さん
出身 千葉県柏市

体の動くうちに、金峰山や羽黒山にもう一度登りたいと常々考えていた。金峰山は、子供の頃の夏、まだ暗いうちに家を出て家族で登山し、湯田川に下山した思い出があり、羽黒山は、林間学校で行った斎館にもう一度行きたいと思っていたからだ。

最初に「いた」と書いたのには訳がある。金峰山や羽黒山にはまだ登れるだろうと高を括っていた。ところが数か月前に筑波山に行き、ちよつと登っただけで、心臓はバクバク！息を吸っても肺に空気が入ってこない！数メートル登っては心拍数と呼吸を整えるため休みという、死にそうな目に合った。トホホ。加齢に加え、コロナ禍であまり外出せず、

半径約2キロメートル位での生活を2年以上もしていたからだろう。故郷の2つの山に登るには、まず体力を付け、心肺機能を鍛えなくては...と思っている今日この頃である。



滋さん
出身 鶴岡市
渡辺さん
出身 東京都小平市

鶴岡在郷で生まれ南高卒業までの18年間、それは「私の濃密な原点。その後、京都の大学へ進学し、東京で暮らし続けて半世紀。思えば、鶴岡で暮らしたのはわずか三分の一にしか至らない。

しかしいくらか似非関西弁、東京弁を話してみても、自由奔放に庄内弁を「しゃべり続けた」青々と芽吹き、成長しながら醸成された時期には叶わないと悟る。

さらに両親の晩年には、鶴岡と東京を往復する生活を十年以上続けることが出来たが、厳しかった現実対応とは別に、生まれ育った故郷を中年期に満喫し堪能できたことは、むしろ両親への感謝の気持ちの期間でもあったと思う。

書店で購入した「つるおかうち御膳」には春夏秋冬の「ごつつお」が載っている。

今日も友人に送ってもらった朝掘り孟宗で、孟宗汁を味わいながら寄稿している庄内人の「オレ」がいる。



一郎さん
出身 東京都
本田さん
出身 神奈川県

首都圏鶴岡会の皆様、はじめまして！突然ですが、鎌田邦裕（かまたくにひろ）というフルート演奏家をご存知でしょうか？（写真は鎌田です。）彼は鶴岡市出身で、私はそのマネージメントをし

ている本田と申します。鎌田は20歳の頃からほぼ毎年、故郷の鶴岡でリサイクルを開催しており、来年には10回目を迎えます。当初より、故郷への恩返し、の気持ちを込めて、音楽の力で元気に、そして自身に続く若い音楽家を支援する気持ちで活動が続けています。昨年からは東京でもリサイクルを開催しており、来年も計画中です。ホームページでは最新情報や初めCDも紹介しておりますので、「鎌田邦裕」で検索してみてください。ご声援よろしく願います！



穂さん
出身 鶴岡市
市川さん
出身 鶴岡市

18歳まで鶴岡で過ごし、大学から関東に出て、東京で就職・結婚し、仕事や子育てに邁進していました。東京にいたながらも、鶴岡とのつながりを持ちたいという思いから、鶴岡の移住プログラムや江戸川区で開催される鶴岡のイベントに参加していました。

そんな私の転機は、昨年（2021年）の夏から父の病気が急速に悪化していったことでした。「ここで帰らないと（父の傍に居ないと後悔する）」との思いから、会社や家族に無理を言い、鶴岡に戻りました。後に父は残念ながら亡くなりましたが、同じタイミングで今度母が病気で倒れ、介護を必要とするように。今はそのまま鶴岡で、実家の整理や母のケアをする日々です。きっかけは悲しい事でしたが、人の温かさや美しい景色に癒されては、故郷の素晴らしさに感謝する日々です。

首都圏鶴岡会 新規会員を募集しています！

「首都圏鶴岡会」では、一緒に活動していただける方を募集しています。

ご家族、ご友人、会社の同僚など、多くの方をお誘いください。若い方(自称でも構いません)、大歓迎！ 懇親会・様々なイベントを通じて、同郷の仲間や、鶴岡が大好きな方とのつながりを深めませんか？

ふるさと会、高校同窓会に加入しませんか？

首都圏鶴岡会の他にも、市町村合併前の旧町村単位で「ふるさと会」、さらには、各高校の「同窓会」もあり、それぞれ活動が行われております。

ぜひご入会いただき、懇親を深めるとともに、故郷・鶴岡を盛り上げましょう。

ご興味のある方や入会を希望される方は、鶴岡市東京事務所までお問い合わせください。

酒井家庄内入部400年記念！

今年、酒井家第3代当主酒井忠勝公が、藩主として庄内に入部してから400年の節目を迎えます。この節目の年に、酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会では、鶴岡・庄内の歴史と文化を学び、郷土への愛着と誇りを高め、その魅力を知っていただくための各種取組みを行っています。

10/8(土)は「酒井家庄内入部400年記念式典」、

10/9(日)は「庄内四百年大祭・入部行列」を開催予定です。

鶴岡・庄内を次の100年につなげていきましょう。

400年から学ぶ庄内
みんなでつなごう将来



鶴岡市ふるさと納税公式SNSをご活用ください！

鶴岡市では、ふるさと納税の取組推進のため、公式Twitter、公式noteを開設しています。返礼品に関する情報や、生産者、風土の魅力などを積極的に発信しています。ぜひ多くの皆様の「フォロー」をお願いします！

【twitter】

鶴岡市_ふるさと納税



【note】

鶴岡市 ふるさと納税



会報編集委員

伊藤美津子 石川 康博 大泉 正
坂田 俊次 櫻井 孝子 佐藤 隆也

鶴岡市東京事務所 公式SNS

【facebook】



【twitter】



旬の情報を発信しています。
ぜひご活用ください。

お問い合わせ

首都圏鶴岡会事務局

〒134-0088

東京都江戸川区西葛西7丁目28番7号

鶴岡市東京事務所内

TEL 03-5696-6821

FAX 03-5696-6822

E-Mail

tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

鶴岡市東京事務所 職員紹介

今年度もよろしくお願いいたします。お気軽にお越しください。



(所長) 伊藤 弘治



白幡 佳純



安藤 勝教



目黒 清臣



菅原 美佐子